

計画の推進 その他注目の事業

①東京 2020 オリンピック・パラリンピック推進事業 …1,369 万円

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に向け、組織委員会、国、静岡県、東部地域の各市町、民間関係団体等と連携し、大会関連イベントの実施、機運醸成、観戦客等の受入環境整備を行います。



※写真はすべてイメージです。

②スマート市役所推進事業…760 万円

RPA の適用業務の拡大や AI（人工知能）技術を取り入れた光学文字認識機能（OCR）の導入による業務の効率化を図るとともに、テレワークの実施や会議などのペーパーレス化により職員の働き方改革を推進します。また、三島市スマートシティ推進協議会においてデータ利活用に取り組みます。



※写真はすべてイメージです。

③家屋課税情報管理システムの導入…157 万円

家屋に係る課税情報を電子化し、より適正な課税客体の把握を行うとともに、災害時にはタブレット端末を用いた住家被害認定調査により罹災証明書発行業務の迅速化を図ります。

④市制 80 周年記念事業…54 万円

市制 80 周年にあたり、記念式典やイベントを開催するとともに、既存の市主催、民間団体主催事業においても記念事業として拡充し、市民への周知と機運高揚を図ります。

⑤コンビニエンスストア等収納代行業務委託…588 万円

市民のライフスタイルの多様化に対応し、24 時間納税が可能なコンビニ収納の他にスマートフォンを活用した「モバイルレジサービス」、「モバイルレジクレジット」、「LINE Pay」、「Pay Pay」などの電子納税を充実させ、便利で質の高い市民サービスを提供し、納税環境の整備を図ります。

⑥地方創生人材育成事業 …38 万円

第 5 次三島市総合計画に掲げる共創の理念を実現するため、講座などを通じ、地域における行政と民間企業の双方に連携の核となる共創人材を育成します。

⑦みしまファンネット推進事業…229 万円

ホームページや SNS などのインターネット媒体、映像媒体、紙媒体など、さまざまなメディアを活用して、三島の魅力ある情報の発信を推進するとともに、スマホユーザーの多くが利用する「LINE」を活用し、緊急かつ即時性が必要な防災情報および市政情報などの配信を行うシステムを運用します。

⑧循環バス運行事業費補助金…2,160 万円

市内循環バス「せせらぎ号」および「なかざと号」の運行経費の一部を補助し、市内の公共施設などへの移動の利便性を確保することで、中心市街地の活性化や、沿線住民の買い物や通院を支えます。



※写真はすべてイメージです。

※予算額は万円未満を四捨五入したものです。

「絆で守る安全・安心と 誰もが生き生きと暮らすコミュニティづくり」

Community

第3の柱 主な事業

①子ども・子育て支援推進事業…422 万円

子どもや子育て家庭のニーズを的確に捉えたきめ細かな施策を展開し、地域社会全体で子育て・子育てを支援する体制をさらに推進します。

②発達支援相談事業…5,096 万円

三島市児童発達支援事業所にこぱるを錦田こども園幼稚園棟へ移転し、発達支援センター、錦田幼稚園、錦田保育園と連携した支援体制を構築し、ソーシャル・インクルージョン（※1）を体現する施設を目指します。

③地域づくり市民会議事業…50 万円

小学校区で活動する団体のリーダーが一堂に会する「地域コミュニティ連絡会」を、12 小学校区で開催します。

④生活困窮者自立支援事業 …6,080 万円

生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、就労や自立に関する相談支援を実施し、自立の促進を図るため包括的な支援を行います。

⑤子ども配食支援事業…39 万円

生活困窮家庭などにおける子どもに対する食支援として、配食支援サービスを実施すると同時に、子育て家庭が抱えている困りごとの相談を受けた上で、各家庭の事情にあった支援につなげていきます。

⑥三島市放課後児童健全育成事業費補助金…4,566 万円

留守家庭の児童が放課後に安心して生活できる居場所を確保し、児童の健全な育成を図るため、社会福祉法人などの民間事業者が放課後児童健全育成事業を実施する事業費の一部を支援します。

⑦相談支援事業…4,635 万円

障がい者支援の充実を図るため、基幹相談支援センターに民間事業所の専門職員を常駐させ、連携強化を図り、基幹相談支援センター業務のさらなる充実に努めます。

⑧高齢者バス等利用助成事業…2,942 万円

70 歳以上の高齢者にバスおよび伊豆箱根鉄道の乗車料金、加えて 75 歳以上はタクシー乗車料金の一部として利用できる助成券を配布します。



※写真はすべてイメージです。

⑨無線通信広報事業…2,337 万円

大規模災害時の情報伝達手段である同報無線等の適切な維持管理に努めるとともに、同報無線のデジタル化も含めた整備手法を検討します。

⑩消防ポンプ自動車等更新事業…2,405 万円

複雑多様化する各種災害に対応するため、配備後 22 年が経過し老朽化が著しい消防団第 5 分団（佐野）の消防ポンプ自動車を更新し、災害対応体制の強化を図ります。

⑪地区集会所施設整備補助金…400 万円

自治会活動の拠点「地区集会所」の整備として、修繕・備品購入を行う自治会の費用の一部を支援します。

⑫都市下水路整備事業…1,300 万円

台風や大雨時に増水した大場川から都市下水路への逆流を防止するため、谷田都市下水路樋門ゲートの改築工事を実施します。



※1 全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念